製品安全データシート（ＳＤＳ）

１．　化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称　　作成日　2001年1月29日

キラクリーナー　　改訂日　2026年1月20日

整理番号：Ａ０４６

会社情報

会　社　名　協和商工株式会社
住　　所　大阪府泉大津市田中町10番7号
電 話 番 号　０７２５－２１－５７６７
ＦＡＸ番号　０７２５－２１－７８２７

用途と使用上の制限　ガラスコーティング後の汚れ取り、艶出し剤

２．　危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	・引火性液体	：区分3
人健康有害性	・急性毒性(経皮)	：区分3
	・急性毒性(吸入:蒸気)	：区分3
	・皮膚腐食性/刺激性	：区分2
	・眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	：区分2A
	・生殖細胞変異原性	：区分2
	・特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：区分2(呼吸器系)
	・特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：区分2(呼吸器系)
	・吸引呼吸器有害性	：区分1
環境有害性	・水生環境有害性(急性)	：区分1
	・水生環境有害性(慢性)	：区分1

ＧＨＳラベル要素

絵　表　示

注意喚起語　　危　険

危険有害性情報

- Ｈ 226 引火性液体および蒸気
- Ｈ 311+331　皮膚に接触したり吸入すると有害
- Ｈ 315 皮膚刺激
- Ｈ 319 強い眼刺激
- Ｈ 341 遺伝性疾患のおそれの疑い
- Ｈ 371 呼吸器系の障害のおそれ
- Ｈ 373 長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ
- Ｈ 410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【　安全対策　】

Ｐ 201 使用前に取扱説明書を入手すること。
Ｐ 202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
Ｐ 210 熱/火花/裸火/高温のようなもののような着火源から遠ざけること―禁煙
Ｐ 233 容器を密閉しておくこと。
Ｐ 240 容器を接地すること。
Ｐ 241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/を使用すること。
Ｐ 242 火花を発生させない工具を使用すること。
Ｐ 243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
Ｐ 260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
Ｐ 261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
Ｐ 264 取扱い後は手をよく洗うこと。

P 270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P 271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P 273 環境への放出を避けること。
P 280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【 応急措置 】

P 302+352
皮膚に付着した場合 多量の水と石けんで洗うこと。
P 303+361+353
皮膚に付着した場合:
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと 皮膚を流水で/シャワーで洗うこと。
多量の水と石けんで洗うこと。
P 304+340
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P 306+351+338
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P 308+311
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
P 308+313
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
P 311 医師に連絡すること。
P 312 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
P 314 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
P 321 特別な処置が必要である (このラベルの. . . を見よ)。
P 332+313
皮膚刺激が生じた場合:医師の診断／手当てを受けること。
P 337+313
眼の刺激が続く場合:医師の診断／手当てを受けること。
P 361+364
汚染された衣服を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P 362+364
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P 370+378
火災の場合:消火するために. . . を使用すること。
P 391 漏出物を回収すること。

【保 管】

- P 405 施錠して保管すること。
- P 403+233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P 403+235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

【廃 棄】

- P 501 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　：混合物

成分及び含有量

成分名	含有量（重量%）	CAS No.	化審法No.	安衛法No.	PRTR法No. 改訂後管理番号	毒劇物法該非
ミネラルスピリット	２５～３０	非公開	非公開	551	非該当	非該当
1,2,4-トリメチルベンゼン	１～２	非公開	非公開	404	1-342	非該当
1,3,5-トリメチルベンゼン	＜１	非公開	非公開	404		非該当
トリメチルベンゼン						非該当
モルホリン	１～３	110-91-8	非公開	604	非該当	非該当
ワックス（天然・合成）	５～１０	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
研磨剤	５～１０	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
その他（乳化剤、染料等）	１～５	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
水	残量					

安　衛　法：労働安全衛生法（安衛法）第57条の2第1項政令指定物質の政令番号
PRTR法No.：特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）対象化学物質の政令番号と管理番号
毒劇物該非：毒物劇物取締法　毒物及び劇物取締法の別表一（毒物）、別表二（劇物）、別表三（特定毒物）毒物及び劇物指定令の該当の可否
※混合物の為、非該当

4. 応急処置

吸入した場合
　蒸気、ガスなどを大量に吸い込んだ場合には、直ちに新鮮な空気の場所に移動させ、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合
　大量の水及び石鹸を使用して充分に洗い落とすこと。
　外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、直ちに医師の診断を受けること。
眼に入った場合
　水で数分間注意深く洗うこと
　コンタクトレンズを着用していて、容易にとれる場合は、コンタクトレンズをはずし、更に洗浄を続けること。
　医師の診断、手当てを受けること
飲み込んだ場合
　口をよくすすぐこと
　無理に吐かせないこと
　直ちに医師に連絡すること

5. 火災時の措置

消火剤
　炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
　大規模火災には、霧状の水(棒状の水を用いてはならない。)又は泡消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤
　棒状注水
特有の危険有害物質
　燃焼生成物へのばく露は健康に害を及ぼす場合がある。
　消火作業は、可能な限り風上から行なう。
特有の消火方法
　可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。
　消火作業は、可能な限り風上から行なう。
消火を行う者の保護
　適切な保護具（有機ガス用防毒マスク、手袋等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

作業の際には保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。
屋内で漏洩した場合は充分に換気を行うこと。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。
漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。
流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖室への流入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法・機材

全ての発火源を取り除く(近傍の禁煙、火花や火災の禁止)
少量の場合、乾燥土、不燃材料、砂等を用いて吸着させて、密閉できる空容器に回収し、
後で廃棄処理する。
少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いること。
大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

ばく露防止及び保護措置の項の設備対策を参照。

安全取り扱い注意事項

保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する
温度40℃以上の所では取扱わないこと。
火気のある所では取扱わないこと。
温度40℃以上に暖めないこと。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
使用前に説明書を入手すること
取扱い後はよく手を洗うこと
屋外又は換気の良いところで使用すること・

接触回避

安定性及び反応性を参照

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと

保管

安全な保管条件

温度40℃以上になる所に保管しないこと。
通気の良い場所に保管すること。
子供の手の届かない所に、施錠して保管すること。
保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

安全な容器包装材料

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ＡＣＧＩＨ
ミネラルスピリット	設定なし	設定なし	設定なし
1,2,4-トリメチルベンゼン	設定なし	２５ｐｐｍ	TWA２５ｐｐｍ
1,3,5-トリメチルベンゼン	設定なし	２５ｐｐｍ	TWA２５ｐｐｍ
モルホリン	設定なし	２５ｐｐｍ	TWA２０ｐｐｍ
ワックス（天然・合成）	設定なし	設定なし	2mg/m^3(ﾊﾞﾗﾌｨﾝﾜｯｸｽﾋｭｰﾑとして)
研磨剤	設定なし	2mg/m^3	TWA2mg/m^3
その他（香料等）	設定なし	設定なし	設定なし

設備対策
局所排気装置、全体換気の装置を設置すること。
防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
本製品を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗顔器と安全シャワーを設置すること。

保護具
呼吸器用の保護具を借用すること。
必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を使用する。
手の保護具
必要に応じて保護手袋等を使用する。
眼の保護具
必要に応じて保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具
必要に応じて保護衣、保護面等を使用する。
不燃性の保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

外観・形状	液体	色	白色乳化
臭い	溶剤臭	密度(比重)	0.972g／cm3(20℃)
引火点	51.5℃	粘度	1500mPa・s
		溶解性	水に可溶

10. 安定性及び反応性

反応性：情報なし
安定性：常温では安定
危険有害反応可能：酸化性物質と反応し、激しく燃焼する可能性あり。
避けるべき条件：加熱や、禁忌物との接触、着火源
混触危険物質：酸化性物質
危険有害な分解生成物：有機溶剤の蒸気、ガスなど

11. 有害性情報

製品についての情報　測定データーなし
成分についての情報

	ミネラルスピリット	モルホリン	ワックス	研磨剤
急性毒性(経口)	ラットLD50 5g/kg	区分４	分類対象外	分類できない
急性毒性(経皮)	データ-なし	区分３	分類対象外	分類できない
急性毒性(吸入:気体)	データ-なし	分類対象外	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	データ-なし	区分３	分類対象外	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	データ-なし	分類できない	分類対象外	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分２	区分１	分類対象外	分類できない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	データ-なし	区分２Ａ	分類対象外	分類できない
呼吸器感作性	データ-なし	分類できない	分類対象外	分類できない
皮膚感作性	データ-なし	区分外	分類対象外	分類できない
生殖細胞変異原性	データ-なし	区分２	分類対象外	分類できない
発がん性	データ-なし	区分外	データーなし	分類できない
生殖毒性	データ-なし	区分外	データ-なし	データ-なし
生殖毒性　授乳影響	データ-なし	分類できない	データ-なし	データ-なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分３	区分１	データ-なし	データ-なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分２	区分１	データ-なし	データ-なし
誤えん有害性	データ-なし	分類できない	データ-なし	データ-なし

ミネラルスピリット
局所効果:皮膚や目、粘膜に対し、長期又は繰り返し接触する場合には刺激性がある恐れがある。
トリメチルベンゼン
局所効果:皮膚や目、粘膜に対し、長期又は繰り返し接触する場合には刺激性がある恐れがある。

モルホリン
急性毒性:経口マウス LD50 15,000mg/kg以上(類似品のﾃﾞｰﾀ)
皮膚刺激性:モルモット 軽度
目刺激性:ウサギ Draize法:刺激性なし～最小の刺激
変異原性:Ames試験:陰性 、DNA修復試験:陰性

12. 環境影響情報

製品についての情報 測定データーなし
成分についての情報

	ミネラルスピリット	モルホリン	ワックス	研磨剤
水生環境急有害性(短期)	区分１	区分3	分類対象外	分類できない
水生環境急有害性(長期)	区分１	区分3	分類対象外	分類できない
オゾン層への有害性	データーなし	データーなし	データーなし	データーなし

生態毒性
製品についての情報 測定データーなし
モルホリン
ヒメダカ:96h LC50:>1,000mg/L

残留性・分解性
製品についての情報 測定データーなし
合成ワックス
乾燥土壌中で分解される可能性あり

生体蓄積性
製品についての情報 測定データーなし

土壌中の移動性
製品についての情報 測定データーなし
ミネラルスピリット
物理化学的性質から見て、大気、水系、土壌環境に移動しうる。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物
容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
汚染容器・包装
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託して下さい。

14. 輸送上の注意

国際規制
品名：石油製品
国連分類：クラス３（引火性液体）
国連番号： 1268
容器等級：容器等級Ⅲ
海洋汚染物質：非該当
国内規制
船舶安全法：引火性液体類
航空法：引火性液体類
港則法：引火性液体類
消防法：危険物第４類 第二石油類（水溶性液体）
安全対策
輸送の際は、容器漏れのないことを確かめ、荷崩れのないように処置を講ずること。
取扱い及び保管上の注意の項に従う。

15. 適用法令

消　　防　　法 : 該当　　第四類第二石油類「水溶性」
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法　　: 該当　　名称等を通知すべき危険物及び有害物　57条の2第1項
ミネラルスピリット　1,2,4-トリメチルベンゼン　1,3,5-トリメチルベンゼン
: 第3種有機溶剤等　ミネラルスピリット
化　　審　　法 : 優先評価化学物質　1,2,4-トリメチルベンゼン
化学物質排出把握管理促進法　: 該当 第2条第1種指定化学物質　3.組成、成分情報に記載
PRTR法　　2023年4月1日以降トリメチルベンゼンに統合

16. その他

引用文献
各原料「ＳＤＳ」
GHS分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
備　　考
製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者に提供されるものです。
取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。
従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。